



*KasaraFarm*

6月号  
2019年

## カサラファーム麦プロジェクト

2018年の秋から麦を48種類、播種してこの山陰地方での成長過程を実験するのが目的で始めたプロジェクトです。大麦、小麦、古代小麦、日本の品種や海外の品種をいろいろ試しています。自分で麦を栽培して粉に挽いてパンを焼くのが夢でもあって、やっとそれが実現しそうです！カサラファームの痩せている酸性土壌に山陰の湿った気候での栽培は難儀だろうと思っていましたが何とか、見事に育ちました！今は黄金に輝いています！！特にライ麦は背が高いため、風に揺ると、海の波のように見えてとても美しいです。背の短い大麦は、のげが長くて尖っているため何だか、ハリネズミに見える。



## まだ青いライ麦



## スペルト小麦



## いよいよ収穫！

一番気を使う時期です。日本で麦栽培が盛んではないのは、やはり天候のせいかもしれない。特に山陰地方は曇りの天気が多くて、湿っているのので麦にカビが生えやすい。それと、収穫時はちょうど梅雨に当たるので収穫の作業も





なかなか難しい。コンバイン等の機械を使おうと思ったら、晴れ間が続いて、地面もある程度乾いてないと収穫がしづらい。梅雨に当たりそうな時はあえて麦を青い時期に刈ってはざがけしておいて、熟させる方法もあるが、出来たら麦が黄金の時に刈り取りたい。今年の梅雨はあまり雨が降らなかったなので収穫はうまく行きました！



作付け面積の少ない品種は手刈りで！  
そして、屋根の下ではざがけ乾燥。品種の種類が多いので混ざらない様に管理を心掛ける。





## コンバインでの収穫

最後はコンバインでの収穫を試してみました。以前、兵庫県で麦栽培された時に失敗の経験があったので、今回はうまくいくかどうか心配でした。まず、麦は刈り取る時、お米ほど硬くなく水分を多く含んでいるのでコンバインのような回転数の早い機械の中に入るとすりつぶされる事もあります。実際兵庫県で起こった経験です。その時は雨あがりの時で麦は水分を多く吸っていたのです。その状態で刈り取ったら何とコンバインの中は麦がすりつぶされてお餅状態になってしまい、結果コンバインは詰まってしまったのです！今回カサラファームでは梅雨にも関わらず、雨が少なかったせいか、コンバインでの収穫はバッチリ行けました！何とすいすい刈り取りトウミ掛けと選別もいい感じです！麦はコンバインの中でつぶされる事、無かったです！

古い小型のコンバインを使ってみました。収穫絶好調！



次回はこの小麦でパンを  
焼くぞ！！

続く